授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己ＰＲができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己ＰＲ作成①
	5	自己ＰＲ作成②
	6	自己ＰＲ作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報取集を行い、考えや意見を伝えることがで	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級商業簿記基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業回数	４５回			
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の目的	26	決算⑪（その他の決算整理）
	2	簿記一巡①	27	決算⑫（その他の決算整理）
	3	簿記一巡②	28	確認テスト（第2回）
	4	商品売買①	29	商業簿記総まとめ①
	5	商品売買②	30	商業簿記総まとめ②
	6	現金および預金①	31	商業簿記総まとめ③
	7	現金および預金②	32	商業簿記総まとめ④
	8	手形	33	商業簿記総まとめ⑤
	9	有形固定資産	34	商業簿記総まとめ⑥
	10	その他の債権および債務①	35	損益計算書および貸借対照表①
	11	その他の債権および債務②	36	損益計算書および貸借対照表②
	12	税金	37	損益計算書および貸借対照表③
	13	その他の勘定および訂正仕訳	38	主要簿と補助簿①
	14	株式会社の資本	39	主要簿と補助簿②
	15	確認テスト（第1回）	40	主要簿と補助簿③
	16	決算①（繰越商品および仕入の決算整理）	41	主要簿と補助簿④
	17	決算②（決算整理後残高試算表）	42	主要簿と補助簿⑤
	18	決算③（精算表）	43	主要簿と補助簿⑥
	19	決算④（有形固定資産の決算整理）	44	伝票①
	20	決算⑤（有形固定資産の決算整理）	45	伝票②
	21	決算⑥（有形固定資産の決算整理）		
	22	決算⑦（受取手形および売掛金の決算整理）		
	23	決算⑧（費用および収益の決算整理）		
	24	決算⑨（費用および収益の決算整理）		
	25	決算⑩（その他の決算整理）		
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	3級簿記総合			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	１２０時間（４単位）			
授業回数	６０回			
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	総合問題対策①
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	総合問題対策②
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	総合問題対策③
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	総合問題対策④
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	総合問題対策⑤
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	総合問題対策⑥
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	総合問題対策⑦
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	総合問題対策⑧
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	総合問題対策⑨
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	総合問題対策⑩
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題対策⑪
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題対策⑫
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題対策⑬
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題対策⑭
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題対策⑮
	16	商業簿記総まとめ①（応用編）	46	総合問題演習①
	17	商業簿記総まとめ②（応用編）	47	総合問題演習②
	18	商業簿記総まとめ③（応用編）	48	総合問題演習③
	19	商業簿記総まとめ④（応用編）	49	総合問題演習④
	20	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	50	総合問題演習⑤
	21	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	51	総合問題演習⑥
	22	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	52	総合問題演習⑦
	23	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	53	総合問題演習⑧
	24	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	54	総合問題演習⑨
	25	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	55	総合問題演習⑩
	26	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	56	総合問題演習⑪
	27	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	57	総合問題演習⑫
	28	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	58	総合問題演習⑬
	29	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	59	総合問題演習⑭
	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	９０時間（３単位）
授業回数	４５回
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	総論①（基礎編）	26	引当金②（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	27	引当金③（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	28	法人税等①（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	29	法人税等②（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	30	法人税等③（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	37	連結会計①（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	38	連結会計②（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	39	連結会計③（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	40	連結会計④（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）	41	連結会計⑤（基礎編）
	17	固定資産②（基礎編）	42	連結会計⑥（基礎編）
	18	固定資産③（基礎編）	43	連結会計⑦（基礎編）
	19	固定資産④（基礎編）	44	連結会計⑧（基礎編）
	20	固定資産⑤（基礎編）	45	連結会計⑨（基礎編）
	21	固定資産⑥（基礎編）		
	22	為替換算会計①（基礎編）		
	23	為替換算会計②（基礎編）		
	24	為替換算会計③（基礎編）		
	25	引当金①（基礎編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
授業時間	９０時間（３単位）			
授業回数	４５回			
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎	26	工程別総合原価計算①
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	27	工程別総合原価計算②
	3	材料費会計①	28	組別総合原価計算
	4	材料費会計②	29	等級別総合原価計算①
	5	労務費会計①	30	等級別総合原価計算②
	6	労務費会計②	31	標準原価計算①
	7	経費会計	32	標準原価計算②
	8	製造間接費会計①	33	標準原価計算③
	9	製造間接費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	10	単純個別原価計算①	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	11	単純個別原価計算②	36	工場会計の独立
	12	単純個別原価計算③	37	直接原価計算①
	13	部門別計算①	38	直接原価計算②
	14	部門別計算②	39	確認テスト（第2回）
	15	部門別計算③	40	工業簿記総まとめ①
	16	確認テスト（第1回）	41	工業簿記総まとめ②
	17	工企業の財務諸表①	42	工業簿記総まとめ③
	18	工企業の財務諸表②	43	工業簿記総まとめ④
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）	44	工業簿記総まとめ⑤
	20	総合原価計算①	45	工業簿記総まとめ⑥
	21	総合原価計算②		
	22	総合原価計算③		
	23	総合原価計算④		
	24	総合原価計算⑤		
	25	総合原価計算⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業回数	４５回
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ①（中級編）	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）
2	商業簿記総まとめ②（中級編）	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）
3	商業簿記総まとめ③（中級編）	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
4	商業簿記総まとめ④（中級編）	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）
6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
16	工業簿記総まとめ①（中級編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
17	工業簿記総まとめ②（中級編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
18	工業簿記総まとめ③（中級編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
19	工業簿記総まとめ④（中級編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）		
22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）		
23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）		
24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）		
25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	９０時間（３単位）
授業回数	４５回
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	商業簿記総まとめ①（応用編）	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）
2	商業簿記総まとめ②（応用編）	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）
3	商業簿記総まとめ③（応用編）	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
4	商業簿記総まとめ④（応用編）	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）
6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	31	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	32	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	33	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	34	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	35	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	36	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	37	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	38	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	39	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
16	工業簿記総まとめ①（応用編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
17	工業簿記総まとめ②（応用編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
18	工業簿記総まとめ③（応用編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
19	工業簿記総まとめ④（応用編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）		
22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）		
23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）		
24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）		
25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）		

成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ＩＴリテラシ			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	26	項目別問題演習⑪
	2	コンピュータシステムの構成②	27	項目別問題演習⑫
	3	コンピュータシステムの構成③	28	項目別問題演習⑬
	4	ネットワークテクノロジ①	29	項目別問題演習⑭
	5	ネットワークテクノロジ②	30	項目別問題演習⑮
	6	ネットワークテクノロジ③	31	直前答案練習①
	7	ネットワークの構築と運用①	32	直前答案練習②
	8	ネットワークの構築と運用②	33	直前答案練習③
	9	ネットワークの構築と運用③	34	直前答案練習④
	10	ネットワークの構築と運用④	35	直前答案練習⑤
	11	情報セキュリティ①	36	直前答案練習⑥
	12	情報セキュリティ②	37	直前答案練習⑦
	13	情報セキュリティ③	38	直前答案練習⑧
	14	情報セキュリティ④	39	直前答案練習⑨
	15	情報セキュリティ⑤	40	直前答案練習⑩
	16	項目別問題演習①	41	直前答案練習⑪
	17	項目別問題演習②	42	直前答案練習⑫
	18	項目別問題演習③	43	直前答案練習⑬
	19	項目別問題演習④	44	直前答案練習⑭
	20	項目別問題演習⑤	45	直前答案練習⑮
	21	項目別問題演習⑥		
	22	項目別問題演習⑦		
	23	項目別問題演習⑧		
	24	項目別問題演習⑨		
	25	項目別問題演習⑩		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Excel基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①	16	グラフの書式設定②
	2	ワークシートやブックの作成と管理②	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	3	セルやセル範囲のデータの管理①	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	4	セルやセル範囲のデータの管理②	19	模擬テスト①
	5	テーブルの作成①	20	模擬テスト②
	6	テーブルの作成②	21	模擬テスト③
	7	関数を使用してのデータ集計①	22	模擬テスト④
	8	関数を使用してのデータ集計②	23	模擬テスト⑤
	9	関数を使用しての条件付き計算①	24	模擬テスト⑥
	10	関数を使用しての条件付き計算②	25	模擬テスト⑦
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①	26	模擬テスト⑧
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②	27	模擬テスト⑨
	13	グラフの作成①	28	模擬テスト⑩
	14	グラフの作成②	29	模擬テスト⑪
	15	グラフの書式設定①	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬テスト100%　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	グループフィットネス理論	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（４単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	グループフィットネスに必要な基礎知識の定着を図る	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	グループフィットネスにおける基礎理論の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	エクササイズ・トレーニングの一般原則
	2	健康・フィットネスの構成要素
	3	健康・フィットネストレーニングに関する推奨事項
	4	プロフェッショナルとしての責任
	5	プロフェッショナルとしての考慮
	6	エクササイズ評価
	7	グループエクササイズのクラス構成
	8	クラスの構成要素
	9	運動生理学Ⅰ　エアロビクスとアネロビクス
	10	運動生理学Ⅱ　運動のエネルギー源
	11	運動生理学Ⅲ　３つのエネルギー代謝
	12	運動生理学Ⅳ　糖質と脂肪のエネルギー代謝の関係
	13	運動生理学Ⅴ　呼吸循環器の役割・呼吸循環器の運動時の変化
	14	運動生理学Ⅵ　運動と酸素・最大酸素摂取量と無酸素性作業閾値
	15	運動生理学Ⅶ　トレーニング原則・トレーニング効果と超回復
	16	運動生理学Ⅷ　推奨トレーニングガイドライン
	17	解剖学とキネシオロジーⅠ　神経の分類・伸張反射・骨の役割と特徴
	18	解剖学とキネシオロジーⅡ　骨格・身体軸・役割
	19	解剖学とキネシオロジーⅢ　役割・筋肉の分類・筋繊維のタイプ・筋収縮様式と作用
	20	解剖学とキネシオロジーⅣ　レジスタンストレーニングに使われる用語
	21	解剖学とキネシオロジーⅤ　関節の構造・関節の動きと筋
	22	けがの予防と処置、安全対策Ⅰ　慢性障害
	23	けがの予防と処置、安全対策Ⅱ　急性外傷
	24	けがの予防と処置、安全対策Ⅲ　急性外傷の応急処置
	25	けがの予防と処置、安全対策Ⅳ　インストラクターのための救急法
	26	けがの予防と処置、安全対策Ⅴ　けがの予防対策
	27	栄養学と身体組成Ⅰ　栄養素・摂取目安
	28	栄養学と身体組成Ⅱ　栄養障害・エネルギーバランス
	29	栄養学と身体組成Ⅲ　体型・体脂肪
	30	グループフィットネス理論　まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	グループフィットネス演習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（２単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	グループフィットネスに必要な実技知識の定着を図る	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	グループフィットネスにおける実技および指導力の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	指導テクニック・プレゼンテーションスキル・キューイング
	2	筋力、筋持久力向上トレーニングⅠ基本姿勢とアライメント
	3	筋力、筋持久力向上トレーニングⅡ　主働筋と生体力学
	4	筋力、筋持久力向上トレーニングⅢ　上肢・下肢・体幹の筋群
	5	柔軟性トレーニングⅠ　上半身・下半身のストレッチ
	6	柔軟性トレーニングⅡ　フォーム・アライメント
	7	ウォームアップⅠ　構成要素と強度
	8	ウォームアップⅡ　フォーム・アライメント
	9	カーディオトレーニングⅠ　構成要素と強度
	10	カーディオトレーニングⅡ　フォーム・アライメント
	11	ウォームアップⅢ　レッスン構成案作成
	12	カーディオトレーニングⅢ　レッスン構成案作成
	13	模擬レッスンⅠ　フォーム・アライメント
	14	模擬レッスンⅡ　構成要素・強度・クラスの最終パート
	15	模擬レッスンⅢ　４５分間レッスン　まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	グループフィットネス実践	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	６０時間（４単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	グループフィットネスに必要な実技知識の定着を図る	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	グループフィットネスにおける実技および指導力の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	グループフィットネス業界Ⅰ　フィットネスの利点
	2	グループフィットネス業界Ⅱ　グループエクササイズメソッド・様式
	3	グループフィットネス業界Ⅲ　グループエクササイズの強度・変換
	4	総合的フィットネスⅠ　概要・構成要素
	5	総合的フィットネスⅡ　フィットネスの原則
	6	総合的フィットネスⅢ　フィットネスの応用・変換
	7	指導基本Ⅰ　運動計画の考慮点・クラスの流れ
	8	指導基本Ⅱ　基本姿勢・アライメント
	9	指導基本Ⅲ　構成要素
	10	指導基本Ⅳ　一般的なクラス構成の運動要素
	11	マルチトレーニング指導とエクササイズ方法Ⅰ　マルチトレーニング概論
	12	マルチトレーニング指導とエクササイズ方法Ⅱ　強化エクササイズ
	13	マルチトレーニング指導とエクササイズ方法Ⅲ　心肺機能エクササイズ
	14	マルチトレーニング指導とエクササイズ方法Ⅳ　ヨガベースエクササイズ・サイクルベースのエクササイズ
	15	クラスの指導計画と準備Ⅰ　指導計画の重要性
	16	クラスの指導計画と準備Ⅱ　エクササイズ手法と用具の検討事項
	17	クラスの指導計画と準備Ⅲ　モディフィケーション動作の指導計画
	18	クラスの指導計画と準備Ⅳ　クラスのリハーサル・クラスのメインパート
	19	クラス動態への適応Ⅰ　クラス動態概論・クラス前の準備
	20	クラス動態への適応Ⅱ　参加者の配置・現場での検討事項・モニタリング・動作の質と評価と保証
	21	クラス動態への適応Ⅲ　全体的な安全の検討事項・緊急事態対応の概論・エクササイズの環境・リスク管理
	22	コミュニケーションと学習スタイルⅠ　グループでのコミュニケーションの理解
	23	コミュニケーションと学習スタイルⅡ
	24	コミュニケーションと学習スタイルⅢ
	25	特別対象者のための包括的指導Ⅰ　包括的指導の概論・慢性疾患
	26	特別対象者のための包括的指導Ⅱ
	27	クラスの結びつきとモチベーションⅠ　人間行動の影響・ブランドの確立
	28	クラスの結びつきとモチベーションⅡ　フィットネスコミュニティ・行動変容モデル
	29	プロフェッショナルと法的責任Ⅰ　プロフェッショナルの責任
	30	プロフェッショナルと法的責任Ⅱ　法的そして倫理的配慮
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	救急法・蘇生法	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	CPR（心肺蘇生法）・AEDの技術の習得・応急手当	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	救急法認定	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト,救急法講習教本及び参考書	
特記	救急法の指導資格を有し、応急手当の指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	手当の基本
	2	けがに対する応急手当の基礎知識
	3	一次救命処置Ⅰ（運動開始前及び運動中の自覚症状と他覚徴候及び運動中止の判定）
	4	一次救命処置Ⅱ（内科的な急性・慢性障害の概要と予防方法）
	5	一次救命処置Ⅲ（慢性的な整形外科的障害の自覚症状と他覚徴候及び予防法）
	6	運動と医学Ⅰ　救急処置法＜外科的実習＞
	7	傷の手当（止血）傷の手当（包帯）
	8	運動と医学Ⅱ　救急処置法＜外科的実習＞
	9	骨折の手当Ⅰ（固定の効果と方法）＜実習＞
	10	骨折の手当Ⅱ（上肢）（下肢）
	11	運動と医学Ⅲ　救急処置法＜内科的実習＞
	12	救急搬送の基礎知識
	13	救急搬送（一人・複数人での搬送、災害時の対応）
	14	外科的救急処置　（テーピング技法の基本）＜実習＞
	15	運動と医学Ⅳ　（救急蘇生法の習得）＜実習＞
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スタジオエクササイズ基礎実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	３０時間（１単位）
授業回数	１５回
授業概要	グループフィットネスに必要な実技・技術の定着を図る
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	初心者向けのグループエクササイズのプログラム作成と実演スキルを身に付ける
教科書	特に使用はしない
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家
授業計画	1 エアロビクスダンス指導　インストラクターとは（役割） 2 エアロビクス運動の理論　有酸素運動の強度の設定と評価 3 運動生理学　呼吸循環器の運動時の変化 4 スタジオエクササイズ論Ⅰ（効果的で安全なプログラム作成） 5 スタジオエクササイズ論Ⅱ（プログラムの基本構成） 6 スタジオエクササイズ論Ⅲ（強度変化スキル） 7 エアロビクス運動の理論　低強度・中強度・高強度の各種エクササイズ 8 スタジオエクササイズ論Ⅳ（動きの展開） 9 スタジオエクササイズ論Ⅴ（コリオグラフィーの作り方） 10 エアロビクスダンス指導　Ⅰ（良い姿勢・運動中の動き・動きの注意点） 11 エアロビクスダンス指導　Ⅱ（上肢・下肢の動き、上肢、下肢の組み合わせ） 12 エアロビクスダンス指導　Ⅲ（全体運動としてのバランス） 13 エアロビクスダンス指導　Ⅳ（指導者の向き、立ち位置） 14 エアロビクス運動の理論　キューイングスキル（ビジュアル・バーバル） 15 デモレッスンの体験
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100%　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動処方Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	トレーニング立案及びプログラム作成	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	トレーニング立案及びプログラム作成し指導を行う	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	運動処方　スピード向上のプログラム作成Ⅰ（スピードを向上させる要因）
	2	運動処方　スピード向上のプログラム作成Ⅱ（基礎筋力、最大筋力、パワーの向上）
	3	運動処方　スピード向上のプログラム作成Ⅲ（動作テクニックの獲得）
	4	運動処方　スピード向上のプログラム作成応用Ⅰ（アジリティの強化）
	5	運動処方　スピード向上のプログラム作成応用Ⅱ（オープンスキルアジリティの強化）
	6	運動処方　スピード向上のプログラム作成応用Ⅲ（プログラムデザイン、変数）
	7	運動処方　持久力向上のプログラム作成Ⅰ（持久力に関する基礎理論）
	8	運動処方　持久力向上のプログラム作成Ⅱ（有酸素性持久力に対する基本的な適応）
	9	運動処方　持久力向上のプログラム作成Ⅲ（無酸素性持久力に関する基礎理論）
	10	運動処方　持久力向上のプログラム作成応用Ⅰ（プログラム作成の基本）
	11	運動処方　持久力向上のプログラム作成応用Ⅱ（プログラム作成の実際）
	12	運動処方　柔軟性向上のプログラム作成応用（ストレッチングとスポーツ傷害）
	13	運動処方　柔軟性向上のプログラム作成応用（柔軟性向上のトレーニング）
	14	運動処方　柔軟性向上のプログラム作成応用（ストレッチング）
	15	運動処方　柔軟性向上のプログラム作成応用（ウォームアップとクールダウン）
	16	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅰ（メタボリックシンドロームとは）
	17	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅱ（内臓脂肪型肥満に対するプログラム）
	18	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅲ（2型糖尿病に対するプログラム）
	19	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅳ（脂質異常症・高血圧症に対するプログラム）
	20	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅵ（高齢者に対するプログラム）
	21	運動処方　特別な対象のためのプログラム作成Ⅶ（妊婦・子供に対するプログラム）
	22	運動処方　アスレティックリハビリテーション概論
	23	運動処方　アスレティックリハビリテーションにおける評価
	24	運動処方　アスレティックリハビリテーションのプログラム作成Ⅰ（治癒過程、物理療法等の理解）
	25	運動処方　アスレティックリハビリテーションのプログラム作成Ⅱ（各種強化訓練）
	26	運動処方　アスレティックリハビリテーションのプログラム作成Ⅲ（段階的アスリハ）
	27	スポーツ社会学　トレーニング機器・器具の理解
	28	スポーツ社会学　トレーニング環境
	29	スポーツ社会学　リスクマネジメント
	30	スポーツ社会学　運動指導のための情報収集と活用
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	１年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	演習及び実習
授業時間	９０時間（３単位）
授業回数	４５回
授業概要	筋力トレーニングに必要な実技知識の定着を図る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	筋力トレーニングにおける実技および指導力の習得
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト
特記	

授業計画

1	トレーニング実践　筋力トレーニングⅠ　実施に当たって	26	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅡ　ウォームアップとクールダウン
2	トレーニング実践　筋力トレーニングⅡ　ベンチプレス	27	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅢ　ウォーキング・ランニング
3	トレーニング実践　筋力トレーニングⅢ　スクワット	28	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅣ　トレッドミル・自転車エルゴメータ
4	トレーニング実践　筋力トレーニングⅣ　デッドリフト	29	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅤ　持続性トレーニング
5	トレーニング実践　筋力トレーニングⅤ　胸部・背部・肩部のエクササイズ	30	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅥ　レペティショントレーニング
6	トレーニング実践　筋力トレーニングⅥ　上腕部・前腕部のエクササイズ	31	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅦ　ディトレーニング・オーバートレーニング
7	トレーニング実践　筋力トレーニングⅦ　大腿部及び股関節周辺部のエクササイズ	32	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅧ　レジスタンストレーニング・プリオメトリクス
8	トレーニング実践　筋力トレーニングⅧ　下腿部のエクササイズ	33	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ　持久力に関する基礎理論
9	トレーニング実践　筋力トレーニングⅨ　体幹のエクササイズ	34	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ　有酸素持久力向上トレーニング
10	トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラム作成Ⅰ　筋力トレーニングの効果	35	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅲ　無酸素性持久力向上トレーニング
11	トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラム作成Ⅱ　プログラムの条件設定	36	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅳ　プログラム作成の基本
12	トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラム作成Ⅲ　一般人を対象としたプログラム作成	37	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅴ　健康保持を目的としたプログラム
13	トレーニング実践　筋力トレーニングのプログラム作成Ⅳ　スポーツ選手を対象としたプログラム作成	38	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅵ　年齢に応じたトレーニングプログラム
14	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅠ　クイックリフト（クリーン）	39	トレーニング実践　持久力向上トレーニングのプログラム作成Ⅶ　アスリートの競技力向上のためのプログラム
15	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅡ　クイックリフト（ジャーク）	40	トレーニング実践　スピード向上トレーニングⅠ　スピードの概念
16	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅢ　クイックリフト（スナッチ）	41	トレーニング実践　スピード向上トレーニングⅡ　基本動作
17	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅣ　ジャンプ系エクササイズ	42	トレーニング実践　スピード向上トレーニングⅢ　基本動作を習得するドリル
18	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅤ　上肢・下肢のプライオメトリクス	43	トレーニング実践　スピード向上トレーニングⅣ　エクササイズのレベル分けと分類、選定
19	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅥ　体幹のプライオメトリクス	44	トレーニング実践　スピード向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ　スピードを向上させる要因
20	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅦ　複合動作のプライオメトリクス	45	トレーニング実践　スピード向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ　動作テクニックの獲得
21	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅧ　フィットネス分野でのパワートレーニング		
22	トレーニング実践　パワー向上トレーニングⅨ　プログラム作成		
23	トレーニング実践　パワー向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ　パワーの基本概念		
24	トレーニング実践　パワー向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ　プログラム戦略・プログラム変数		
25	トレーニング実践　持久力向上トレーニングⅠ　安全に関するガイドライン		

成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動生理学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割についての理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	スポーツ指導における基礎理論・知識の習得	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	運動生理学　呼吸循環系と運動（運動の仕組みの理解）
	2	運動生理学　エネルギー代謝と運動Ⅰ（筋線維の収縮特性と代謝特性）
	3	運動生理学　エネルギー代謝と運動Ⅱ（運動と筋線維タイプ）
	4	運動生理学　骨格筋の形態と機能Ⅰ（エネルギー供給機構・筋力増加の理解）
	5	運動生理学　筋・神経系に対するトレーニング効果
	6	運動生理学　筋力発揮のメカニズム（筋の収縮様式）
	7	運動生理学　運動と血液・体液
	8	運動生理学　内分泌系と運動Ⅰ（内分泌器官とホルモン）
	9	運動生理学　内分泌系と運動Ⅱ（レジスタンストレーニングとホルモン分泌）
	10	運動生理学　呼吸循環器の運動時の変化（最大酸素摂取量・無酸素性作業閾値の理解）
	11	運動生理学　随意運動と不随意運動の違い
	12	運動生理学　運動に対する体液の果たす役割
	13	運動生理学　体力、基本的動作の発達への理解
	14	運動生理学　年齢と体力の関係理解
	15	運動生理学　体に及ぼす先天的要因と後天的要因の理解
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	機能解剖とバイオメカニクス	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割についての理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	スポーツ指導における基礎理論・知識の習得	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	解剖学　Ⅰ上肢
	2	解剖学　Ⅱ上肢　動作確認（単関節と多関節運動の理解）
	3	解剖学　Ⅲ脊柱と胸郭
	4	解剖学　Ⅳ脊柱と胸郭　動作確認（単関節と多関節運動の理解）
	5	解剖学　Ⅴ下肢
	6	解剖学　Ⅵ下肢　動作確認（単関節と多関節運動の理解）
	7	解剖学　Ⅶ上肢　筋肉
	8	解剖学　Ⅷ下肢　筋肉
	9	バイオメカニクス　Ⅰ（基礎知識、トレーニング動作）
	10	バイオメカニクス　Ⅱ（スポーツ動作：歩動作、走動作、跳動作）
	11	バイオメカニクス　Ⅲ（スポーツ動作：投動作、打動作、蹴動作）
	12	バイオメカニクス　Ⅳ（スポーツ動作：滑走動作、泳動作など）
	13	バイオメカニクス　Ⅴ（筋と腱の弾性エネルギーの理解）
	14	バイオメカニクス　Ⅵ（着地衝撃とそ緩衝法の理解）
	15	バイオメカニクス　Ⅶ（基本的動作の力学的特徴の理解）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	健康スポーツ学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	運動の基礎的な知識を学び対象に合わせた、体に考慮した指導がどのように実践されているのかを理解する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	運動指導における基礎理論・知識の習得	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	発育発達論　運動指導の科学Ⅰ（動作の成り立ち、神経系の発達）
	2	発育発達論　運動指導の科学Ⅱ（動作の習得と練習方法）
	3	スポーツ医学　外傷、創傷の応急処置（ＲＩＣＥ処置の重要性、留意点、止血法）
	4	スポーツ医学　スポーツ傷害Ⅰ（足部、足関節、下腿部、膝関節）
	5	スポーツ医学　スポーツ傷害Ⅱ（大腿部、腰部、肩、肘、手関節）
	6	スポーツ医学　生活習慣病とその予防（健康づくりのための身体活動基準）
	7	スポーツ医学　肥満に対する理解と運動指導Ⅰ（肥満とは）
	8	スポーツ医学　肥満に対する理解と運動指導Ⅱ（減量、運動指導）
	9	スポーツ医学　糖尿病に対する理解と運動指導Ⅰ（糖尿病とは）
	10	スポーツ医学　糖尿病に対する理解と運動指導Ⅱ（運動指導）
	11	スポーツ医学　脂質異常症に対する理解と運動指導Ⅰ（脂質異常症とは）
	12	スポーツ医学　脂質異常症に対する理解と運動指導Ⅱ（運動指導）
	13	スポーツ医学　高血圧症に対する理解と運動指導Ⅰ（高血圧症とは）
	14	スポーツ医学　高血圧症に対する理解と運動指導Ⅱ（運動指導）
	15	救急処置　運動と医学　救急処置法　Ⅰ
	16	救急処置　運動と医学　救急処置法　Ⅱ
	17	救急処置　運動と医学　救急処置法　Ⅲ
	18	救急処置　運動と医学　救急処置法　Ⅳ
	19	スポーツ栄養学　運動と栄養に関する基礎理論Ⅰ（五大栄養素の役割）
	20	スポーツ栄養学　運動と栄養に関する基礎理論Ⅱ（身体組成とエネルギー代謝）
	21	スポーツ栄養学　運動と栄養に関する基礎理論Ⅲ（日本人の食事摂取基準・食生活指針への理解）
	22	スポーツ栄養学　運動と栄養に関する基礎理論Ⅳ（栄養素と水の役割、食品群への理解）
	23	スポーツ栄養学　運動と栄養に関する基礎理論Ⅵ（生活習慣病等）
	24	スポーツ栄養学　健康増進と栄養の基礎知識Ⅰ（健康に関する目標と食事摂取基準）
	25	スポーツ栄養学　健康増進と栄養の基礎知識Ⅱ（バランスガイドを活用した食事指導）
	26	スポーツ栄養学　健康増進と栄養の基礎知識Ⅲ（運動時のエネルギー源の理解）
	27	スポーツ栄養学　健康増進と栄養の基礎知識Ⅳ（身体運動・運動のエネルギー消費量の理解）
	28	スポーツ栄養学　スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅰ（トレーニングスケジュールと食事）
	29	スポーツ栄養学　スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅱ（栄養・食事計画の立案と食事管理）
	30	スポーツ栄養学　スポーツ選手の競技力向上と栄養Ⅲ（適切な減量計画の立案）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	メディカルケア	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	トレーニングプログラム作成・指導	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	トレーニング立案及びプログラム作成し指導を行う	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	ストレッチングの理論と実際　ウォームアップのプログラム作成Ⅱ（一般的なウォームアップの例）
	2	ストレッチングの理論と実際　ウォームアップのプログラム作成Ⅰ（ウォームアップの効果、分類）
	3	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上のプログラム作成（ストレッチング基礎理論）
	4	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上トレーニングⅠ　スタティックストレッチ
	5	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上トレーニングⅡ　パートナーストレッチ
	6	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上トレーニングⅢ　ダイナミックストレッチ
	7	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上トレーニングのプログラム作成Ⅰ　ウォームアップとクールダウン
	8	ストレッチングの理論と実際　柔軟性向上トレーニングのプログラム作成Ⅱ　ウォームアップのプログラム作成
	9	体力測定の評価　測定と評価委の意義と目的
	10	体力測定の評価　測定の一般的留意点
	11	体力測定の評価　測定データの準備＜実習＞
	12	体力測定の評価　得点化と評価法＜実習＞
	13	体力測定の評価　統計的仮説検定の基礎
	14	体力測定の評価　身体組成の測定原理及び測定方法の理解＜実習＞
	15	体力測定の評価　新体力テストの各項目と体力要素の関連及び測定と評価＜実習＞
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動処方Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	安全で効果的なトレーニング立案及びプログラム作成	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	トレーニング立案及びプログラム作成し指導を行う	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	メディカルチェックについて
	2	健康づくりのためのトレーニングの原則
	3	健康づくりと運動プログラム作成の基礎とポイント
	4	ウォームアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果
	5	運動処方　体力の概念
	6	運動処方　体力の要素と体力モデル
	7	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅰ（原理と原則）
	8	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅱ（超回復）
	9	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅲ（フィットネス-疲労理論）
	10	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅳ（レジスタンス運動の効果）
	11	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅴ（レジスタンス運動プログラムの作成手順）
	12	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅵ（プログラム変数の操作）
	13	運動処方　トレーニング計画の立案Ⅶ（ピリオダイゼーション）
	14	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅰ（筋力トレーニングの効果）
	15	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅱ（プログラムの構成要素）
	16	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅲ（レジスタンス運動の分類・配列）
	17	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅳ（負荷の設定）
	18	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅴ（目的に応じた条件設定）
	19	運動処方　筋力強化のプログラム作成Ⅵ（プログラム作成例）
	20	運動処方　筋力強化のプログラム作成応用Ⅰ（特殊なセットの組み方）
	21	運動処方　筋力強化のプログラム作成応用Ⅱ（特殊なトレーニングシステム）
	22	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅰ（パワーの基本概念）
	23	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅱ（パワーの測定と評価）
	24	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅲ（プログラム戦略）
	25	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅳ（プログラム変数：種類）
	26	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅴ（プログラム変数：配列）
	27	運動処方　パワー向上のプログラム作成Ⅵ（プログラム変数：強度）
	28	運動処方　パワー向上のプログラム作成応用Ⅰ（反動動作における生理学的基礎）
	29	運動処方　パワー向上のプログラム作成応用Ⅱ（プライオメトリクスの変数）
	30	運動処方　パワー向上のプログラム作成応用Ⅲ（長期的な計画・フィットネス分野のトレーニング）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ心理学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	指導者の基礎的な知識を学び、指導者の役割についての理解を深める	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	スポーツ指導における基礎理論・知識の習得	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト	
特記		
授業計画	1	健康管理概論　指導者の役割Ⅰ（国内のトレーニング指導者に対するニーズ）
	2	健康管理概論　指導者の役割Ⅱ（トレーニング指導者の役割と業務）
	3	健康管理概論　指導者の役割Ⅲ（競技スポーツ分野における状況に応じた活動）
	4	スポーツ心理学　運動と心理の基礎理論Ⅰ（心理面のかかわり・心理面を考慮した指導法）
	5	スポーツ心理学　運動と心理の基礎理論Ⅱ（選手のメンタル面の強化、モチベーションの向上）
	6	スポーツ心理学　運動と心理の基礎理論Ⅲ（指導者の考え方）
	7	スポーツ心理学　運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅰ（メンタルトレーニング）
	8	スポーツ心理学　運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅱ（練習前の心理的準備、目標設定）
	9	スポーツ心理学　運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅲ（試合に向けた心理的準備、イメトレ）
	10	スポーツ心理学　運動と心理のスポーツ選手への活用Ⅳ（まとめ）
	11	スポーツ心理学　運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅰ（社会・心理・環境要因の理解）
	12	スポーツ心理学　運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅱ（心理社会的効果の内容とその効果の理解）
	13	スポーツ心理学　運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅲ（カウンセリング並びにミスマッチの解決法）
	14	スポーツ心理学　運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅳ（行動変容理論・モデル及び技法の理解）
	15	スポーツ心理学　運動と心理の一般人の健康増進への活用Ⅴ（まとめ）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マシントレーニング実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	トレーニングマシンの安全、且つ効果的な使用方法を学び、器具を使用したプログラムスキルを学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	トレーニング器具を使用した安全で効果的なプログラムを作成するスキルを身に付ける	
教科書	特に使用はしない	
特記	スポーツクラブで指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	トレーニングの基礎・原理・準備について学ぶ
	2	パワーポイント・スティッキングポイントの理解
	3	マシントレーニングの特性について学ぶ
	4	マシントレーニング　1RM測定方法・最大拳上回数と安全性について学ぶ
	5	ストレッチングの効果と留意点
	6	フリーウェイトトレーニングのトレーニング原理ついて学ぶ
	7	フリーウェイトトレーニング　関節可動域の理解を学ぶ
	8	レジスタンストレーニングⅠ　骨格筋の構造
	9	レジスタンストレーニングⅡ　筋収縮メカニズム
	10	ピリオダイゼーションのトレーニング原理ついて学ぶ
	11	サーキットトレーニングのトレーニング原理ついて学ぶ
	12	体力の分類やフィジカルテストの評価を学ぶ
	13	トレーニングの計画方法について学ぶ
	14	トレーニングの計画から実践
	15	トレーニングの計画の改善・修正
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スタジオレッスン実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	グループフィットネスに必要な実技・技術の定着を図る	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	初心者向けの各種エクササイズのプログラム作成と実演スキルを身に付ける	
教科書	特に使用はしない	
特記	スポーツクラブで指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	施設利用ガイダンス
	2	運動生理学　呼吸循環器の運動時の変化
	3	エアロビクスダンス　アクアスポーツ基礎Ⅰ（水中ウォーキング・アクアビクス）
	4	エアロビクスダンス　アクアスポーツ基礎Ⅱ（水中ウォーキング・アクアビクス）
	5	アクアスポーツ演習Ⅰ（水中ウォーキング・アクアビクス基本動作習得）
	6	アクアスポーツ演習Ⅱ（アクアビクス体験）
	7	エアロビクスダンス　格闘技エクササイズ基礎Ⅰ（ボクササイズ）
	8	エアロビクスダンス　格闘技エクササイズ演習Ⅰ（ボクササイズ基本動作習得）
	9	格闘技エクササイズ演習Ⅱ（ボクササイズ体験）
	10	エアロビクスダンス　ダンスエクササイズ基礎Ⅰ（エアロビクス・ズンバ）
	11	ダンスエクササイズ演習Ⅰ（エアロビクス体験）
	12	ダンスエクササイズ演習Ⅱ（ズンバ体験）
	13	チームスポーツ演習Ⅰ（チームスポーツ計画の作成）
	14	チームスポーツ演習Ⅱ（チームスポーツ計画の実践・評価・修正）
	15	チームスポーツ演習Ⅲ（チームスポーツ計画の実践・評価）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	専門コンディショニング	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	テーピング、ストレッチ、リラクゼーションの基礎知識・スキルを学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	テーピング、ストレッチ、リラクゼーションの基礎知識・スキルの定着	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト及び参考書	
特記	チームスポーツの現場で応急処置や治療を行っている実務家	
授業計画	1	テーピング法の知識と基本テクニック
	2	テーピング法Ⅰ（大腿部・下腿部）
	3	テーピング法Ⅱ（上背部・肩部・腰部）
	4	テーピング法Ⅲ（前腕部・上腕部・手首）
	5	ストレッチ法の知識と基本テクニック
	6	ストレッチ法Ⅰ（上半身可動性）
	7	ストレッチ法Ⅱ（下半身可動性）
	8	ストレッチ法Ⅲ（リラクゼーション）
	9	リラクゼーション法の知識と基本テクニック
	10	リラクゼーション法Ⅰ（手技・手法）
	11	リラクゼーション法Ⅱ（実技）
	12	リラクゼーション法Ⅲ（応用）
	13	スポーツ栄養学Ⅰ（食教育・食環境）
	14	スポーツ栄養学Ⅱ（コンディション管理・増量・減量）
	15	スポーツ栄養学Ⅲ（サプリメント）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ダイビング実習			
実務家教員	○　学外による実習			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間（１単位）			
授業回数	１５回			
授業概要	事前講習、現場実技によるスクーバダイビングの習得			
授業の進め方	事前講習及び現地実習指導で、スクーバダイビングを安全に実施する為の知識・スキルの定着を図る			
達成目標	NAUIスクーバダイバー認定			
教科書	テキスト及び参考書			
特記	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
授業計画		ガイダンス・オリエンテーション		海洋実習Ⅰ（器材の確認）
		ダイビングの基礎知識・器材		海洋実習Ⅱ
		物理Ⅰ（大気圧・水圧）		（スクーバシステムの組み立て・取り外し）
		物理Ⅱ（圧力と体積）		海洋実習Ⅲ（器材の使い方）
		物理Ⅲ（水中での空気の消費）		海洋実習Ⅳ（浮力コントロール）
		水中での身体Ⅰ（傷害）		海洋実習Ⅴ（マスククリア）
		水中での身体Ⅱ（対処法）		海洋実習Ⅵ（圧平衡）
		環境Ⅰ（水の性質）		海洋実習Ⅶ（潜降）
		環境Ⅱ（水中の生物）		海洋実習Ⅷ（浮上）
		自然保護		海洋実習Ⅸ（器材の脱着）
		潜水時間の計画Ⅰ		海洋実習Ⅹ（水中でのコミュニケーション）
		（ダイブテーブルの用語と使い方）		海洋実習Ⅺ（トラブル時の対応）
		潜水時間の計画Ⅱ（反復潜水の計画）		海洋実習Ⅻ（ダイビングの記録）
		ダイブ・コンピュータ		ダイビング実習まとめ・テスト
		器材の使い方Ⅰ		
		（スクーバシステムの組み立て・取り外し）		
		器材の使い方Ⅱ（浮力コントロール）		
		ダイビングの安全Ⅰ（ダイビングの計画）		
		ダイビングの安全Ⅱ（ダイビングのトラブル）		
		事前講習　１０時間		現地実習・講習　２０時間
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	インターンシップ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	事前研修、インターン実習、事後研修による実務経験	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	各企業よるインターン実習における高評価	
教科書	特に使用はしない	
特記	各企業に依頼して実施。各企業と事前確認を行い明確な課題を設けながらインターンシップ実習を行う。	
授業計画	1	インターン実習1　業界の基礎知識学習
	2	インターン実習2　　スポーツ業界におけるビジネスマナー
	3	インターン実習3　　ストアオペレーション基礎知識
	4	インターン実習4　　ディスプレイ基礎知識
	5	インターン実習5　　健康についての専門知識と実践技能の取得
	6	インターン実習6　　健康支援についての専門知識と実践技能の取得
	7	インターン実習7　　スポーツ業界をヒト・モノ・カネ・情報という運営資源の側面からマネジメント
	8	インターン実習8　接客業or小売業の専門知識について
	9	インターン実習9　接客販売の心得
	10	インターン実習10　状況別の店内接客
	11	インターン実習11　敬語・クッション言葉・状況に応じた対応
	12	インターン実習12　報告・連絡・相談について
	13	インターン実習13　日誌　作成方法と振り返り方法
	14	インターン実習14　スポーツイベントの現状歴史について
	15	インターン実習15　スポーツ業界経済効果について
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	キャンプ実習			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間（１単位）			
授業回数	１５回			
授業概要	事前講習、現場実技によるキャンプスキルの習得			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	キャンプ実習インストラクター認定			
教科書	テキスト及び参考書			
特記	日本キャンプ協会認定のキャンプインストラクターによる、野外スクール指導などの経験を活かした事前講習及びキャンプ場にて直接実践的な指導をおこなう。			
授業計画		キャンプの特性Ⅰ		キャンプの生活技術Ⅰ
		（キャンプの意義と目的）		（テントの設営）
		キャンプの特性Ⅱ		（アウトドアクッキング）
		（キャンプの組織と種類）		（キャンプ道具）
		（キャンプのルールとマナー）		キャンプの生活技術Ⅱ
		キャンプの対象		（ロープワーク、キャンプと天気）
		（人間と自然の関係）		さまざまなアクティビティⅠ
		キャンプの指導		（冒険プログラム）
		（コミュニケーションスキル）		さまざまなアクティビティⅡ
		キャンプの安全		（オリエンテーリング活動）
		（キャンプにおける安全の考え方）		さまざまなアクティビティⅢ
		キャンプの基本装備		（地域学習・生活文化体験）
		（個人装備、団体装備）		さまざまなアクティビティⅣ
				（キャンプファイアー）
				さまざまなアクティビティⅤ
				（荒天時の活動）
		事前講習　8時間		現地実習・講習　24時間
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト(理論)100%　科目習熟度を測定するテスト			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	スキー基礎技術論			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間（１単位）			
授業回数	１５回			
授業概要	現場実技によるスキー技術、使用用具や関連商品の知識を習得			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	スキー検定認定			
教科書	特に使用はしない			
特記	SAJ公認インストラクターによる、スクール指導などの経験を活かした事前講習及びゲレンデでの指導をおこなう。			
授業計画		ガイダンス・オリエンテーション		初歩動作から一人すべり
		スキーの基礎知識・用具		スキーの楽しさ知る・安全の確保・マナー
				八の字から連続回転
				連続回転からパラレル
				パラレルターンⅠ　リズム・タイミング・コース取り（大回り）
				パラレルターンⅡ　リズム・タイミング・コース取り（小回り）
				八の字と平行を組み合わせるⅠ　基礎技能の強化
				八の字と平行を組み合わせるⅡ　パラレルターンの基礎
				八の字と平行を組み合わせるⅢ　パラレルターンの応用
				八の字と平行を組み合わせるⅣ　パラレルターンの習得
				スキーを揃えて滑るⅠ　整地・コブ斜面（小回り・大回り）
				スキーを揃えて滑るⅡ　整地・コブ斜面　応用技能の強化
				リズム変化　状況対応能力の強化
				リズム変化　斜度変化
				リズム変化　スピード・不整地の対応
				バッジテスト
		事前講習　３時間		現地実習・講習　２７時間
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	スノーボード基礎技術論			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間（１単位）			
授業回数	１５回			
授業概要	現場実技によるスノーボードスキル、使用用具や関連商品の知識を習得			
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ			
達成目標	スノーボード検定認定			
教科書	特に使用はしない			
特記	JSBA公認インストラクターによる、スクール指導などの経験を活かした事前講習及びゲレンデでの指導をおこなう。			
授業計画		ガイダンス・オリエンテーション		初歩動作から一人すべり
		スノーボードの基礎知識・用具		スノーボードの楽しさ知る・安全の確保・マナー
				ノーズドロップからの停止（ターンと停止）
				ターンの形、サイズ変更Ⅰ　ミドルターン
				ターンの形、サイズ変更Ⅱ　ロングターン
				ターンの形、サイズ変更Ⅲ　ショートターン
				ターンの形、サイズ変更Ⅳ　カービングターンロング
				ターンの形、サイズ変更Ⅴ　カービングターンショート
				ターンの形、サイズ変更Ⅵ　ベーシックカーブロング
				ターンの形、サイズ変更Ⅶ　フリーライディング
				ターンの形、サイズ変更の応用　ベーシックカーブショート
				ターンの形、サイズ変更の応用　ベーシックカーブロング
				ターンの形、サイズ変更の応用　フリーライディング
				リズム変化　斜度変化
				リズム変化　スピード・不整地の対応
				バッジテスト
		事前講習　３時間		現地実習・講習　２７時間
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	時短に効くショートカットキー
	2	入力の時短①
	3	入力の時短②
	4	入力の時短③
	5	入力の時短④
	6	二度手間を防ぐ①
	7	二度手間を防ぐ②
	8	二度手間を防ぐ③
	9	集計作業効率化①
	10	集計作業効率化②
	11	集計作業効率化③
	12	関数による計算・判定①
	13	関数による計算・判定②
	14	実例演習
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ビジネスマナー			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	学校と職場の違い	16	効果測定①
	2	職場のマナー	17	効果測定②
	3	仕事の進め方	18	接遇マナー①
	4	報告、連絡、相談	19	接遇マナー②
	5	挨拶	20	接遇マナー③
	6	笑顔、お辞儀	21	接客マナー①
	7	敬語①	22	接客マナー②
	8	敬語②	23	営業マナー①
	9	応対の基本①	24	営業マナー②
	10	応対の基本②	25	商品説明①
	11	電話応対①	26	商品説明②
	12	電話応対②	27	クレーム応対
	13	電話応対③	28	社会人マナー①
	14	電話応対④	29	社会人マナー②
	15	電話応対⑤	30	社会人マナー③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技・筆記による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング概論			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記	販売・流通関係の企業から実務家を招き、実務に必要な知識を講義する			
授業計画	1	マーケティングと顧客満足	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	2	マーケティング分析方法①	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	3	マーケティング分析方法②	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	4	マーケティングと財務知識①	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	5	マーケティングと財務知識②	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	6	マーケティングと財務知識③	21	マーケティング演習①
	7	マーケティングと財務知識④	22	マーケティング演習②
	8	マーケティング手法①	23	マーケティング演習③
	9	マーケティング手法②	24	マーケティング演習④
	10	確認テスト	25	マーケティング演習⑤
	11	事例から学ぶマーケティング①	26	マーケティング演習⑥
	12	事例から学ぶマーケティング②	27	マーケティング演習⑦
	13	事例から学ぶマーケティング③	28	マーケティング演習⑧
	14	事例から学ぶマーケティング④	29	マーケティング演習⑨
	15	事例から学ぶマーケティング⑤	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究・発表			
実務家教員	○			
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記	販売・流通関係の企業から実務家を招き、実務に必要な知識を講義する			
授業計画	1	企画作成①	16	オンラインプレゼン方法①
	2	企画作成②	17	オンラインプレゼン方法②
	3	企画作成③	18	オンラインプレゼン方法③
	4	企画作成④	19	企画のブラッシュアップ⑨
	5	企画作成⑤	20	企画のブラッシュアップ⑩
	6	中間発表①	21	企画のブラッシュアップ⑪
	7	中間発表②	22	企画のブラッシュアップ⑫
	8	企画のブラッシュアップ①	23	企画のブラッシュアップ⑬
	9	企画のブラッシュアップ②	24	企画のブラッシュアップ⑭
	10	企画のブラッシュアップ③	25	企画のブラッシュアップ⑮
	11	企画のブラッシュアップ④	26	企画のブラッシュアップ⑯
	12	企画のブラッシュアップ⑤	27	企画発表（校内）①
	13	企画のブラッシュアップ⑥	28	企画発表（校内）②
	14	企画のブラッシュアップ⑦	29	企画発表（企業向け）①
	15	企画のブラッシュアップ⑧	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間	90時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	販売員の役割①	26	店舗形態別小売業②
	2	販売員の役割②	27	店舗形態別小売業③
	3	販売員の役割③	28	商業集積①
	4	販売員の法廷知識①	29	商業集積②
	5	販売員の法廷知識②	30	商業集積③
	6	販売員の法廷知識③	31	商業集積④
	7	小売業の計数管理①	32	商業集積⑤
	8	小売業の計数管理②	33	商業集積⑥
	9	小売業の計数管理③	34	小売業のマーケティング①
	10	店舗管理①	35	小売業のマーケティング②
	11	店舗管理②	36	小売業のマーケティング③
	12	店舗管理③	37	小売業のマーケティング④
	13	店舗管理④	38	小売業のマーケティング⑤
	14	店舗管理⑤	39	小売業のマーケティング⑥
	15	店舗管理⑥	40	顧客満足経営①
	16	流通における小売業①	41	顧客満足経営②
	17	流通における小売業②	42	顧客満足経営③
	18	流通における小売業③	43	顧客満足経営④
	19	流通における小売業④	44	顧客満足経営⑤
	20	流通における小売業⑤	45	確認テスト
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	必修			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定３級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	26	マーチャンダイジング②
	2	証券の設定と出店②	27	マーチャンダイジング③
	3	証券の設定と出店③	28	マーチャンダイジング④
	4	リージョナルプロモーション①	29	マーチャンダイジング⑤
	5	リージョナルプロモーション②	30	マーチャンダイジング⑥
	6	リージョナルプロモーション③	31	商品計画①
	7	顧客志向型売り場づくり①	32	商品計画②
	8	顧客志向型売り場づくり②	33	商品計画③
	9	顧客志向型売り場づくり③	34	販売計画及び仕入れ計画①
	10	ストアオペレーション①	35	販売計画及び仕入れ計画②
	11	ストアオペレーション②	36	販売計画及び仕入れ計画③
	12	ストアオペレーション③	37	価格設定①
	13	ストアオペレーション④	38	価格設定②
	14	ストアオペレーション⑤	39	価格設定③
	15	ストアオペレーション⑥	40	在庫管理①
	16	梱包技術①	41	在庫管理②
	17	梱包技術②	42	在庫管理③
	18	梱包技術③	43	販売管理①
	19	ディスプレイ①	44	販売管理②
	20	ディスプレイ②	45	確認テスト
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	120時間（4単位）			
授業回数	60回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	ＦＰ３級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP応用			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間（2単位）			
授業回数	30回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る			
達成目標	問題演習によりＦＰ３級の基礎知識を定着させる			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①	16	タックスプランニング問題演習②
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②	17	タックスプランニング問題演習③
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③	18	タックスプランニング問題演習④
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④	19	タックスプランニング問題演習⑤
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤	20	タックスプランニング問題演習⑥
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥	21	不動産問題演習①
	7	リスク管理問題演習①	22	不動産問題演習②
	8	リスク管理問題演習②	23	不動産問題演習③
	9	リスク管理問題演習③	24	不動産問題演習④
	10	リスク管理問題演習④	25	不動産問題演習⑤
	11	金融資産運用問題演習①	26	相続・事業承継問題演習①
	12	金融資産運用問題演習②	27	相続・事業承継問題演習②
	13	金融資産運用問題演習③	28	相続・事業承継問題演習③
	14	金融資産運用問題演習④	29	相続・事業承継問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習①	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP総合			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
授業時間	90時間（3単位）			
授業回数	45回			
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	ＦＰ３級に合格できるレベルの知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	過去問研究①	26	過去問研究㉖
	2	過去問研究②	27	過去問研究㉗
	3	過去問研究③	28	過去問研究㉘
	4	過去問研究④	29	過去問研究㉙
	5	過去問研究⑤	30	過去問研究㉚
	6	過去問研究⑥	31	直前答案練習①
	7	過去問研究⑦	32	直前答案練習②
	8	過去問研究⑧	33	直前答案練習③
	9	過去問研究⑨	34	直前答案練習④
	10	過去問研究⑩	35	直前答案練習⑤
	11	過去問研究⑪	36	直前答案練習⑥
	12	過去問研究⑫	37	直前答案練習⑦
	13	過去問研究⑬	38	直前答案練習⑧
	14	過去問研究⑭	39	直前答案練習⑨
	15	過去問研究⑮	40	直前答案練習⑩
	16	過去問研究⑯	41	直前答案練習⑪
	17	過去問研究⑰	42	直前答案練習⑫
	18	過去問研究⑱	43	直前答案練習⑬
	19	過去問研究⑲	44	直前答案練習⑭
	20	過去問研究⑳	45	直前答案練習⑮
	21	過去問研究㉑		
	22	過去問研究㉒		
	23	過去問研究㉓		
	24	過去問研究㉔		
	25	過去問研究㉕		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パーソナルトレーナー理論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	様々な対象の人に対してのトレーニング知識を高めパーソナル指導の知識を身に付ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	パーソナル指導の技能知識のスキルを高める	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	トレーニングの原則・科学的なトレーニング
	2	有酸素運動とその効果
	3	持久力・パワー・スピードを規定する要因とそのトレーニング方法
	4	スピード・パワーのトレーニングⅠ（垂直方向・水平方向のプライオメトリックトレーニング）
	5	レジスタンストレーニングの効果・筋肥大と筋力向上のプログラムの違い
	6	コンディショニングの理論と実際
	7	トレーニングと疲労（超回復現象の生化学的意味）
	8	柔軟性のトレーニング
	9	健康づくりの施策と運動習慣の形成
	10	スポーツ選手における体力要素の捉え方
	11	運動処方時の安全管理
	12	ドーピングについて（語源・定義の変遷・歴史）
	13	アンチ・ドーピング（ドーピングについて考えておく必要のある注意事項）
	14	総合的体力トレーニングⅠ
	15	総合的体力トレーニングⅡ
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パーソナルトレーナー実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	様々な対象の人に対してのトレーニングを実践的に学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	パーソナル指導の技能知識のスキルの啓発を外部施設で行う	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、AFAAPFTV4マニュアル及び参考書	
特記	指導者ライセンスを保持しパーソナルトレーナー業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	運動処方とは
	2	体組成について
	3	レジスタンストレーニングⅠ　（筋活動様式「収縮様式」の特徴理解）
	4	レジスタンストレーニングⅡ　（レジスタンスエクササイズの健康効果）
	5	レジスタンストレーニングⅢ　（上半身・下半身系種目の動作習得）
	6	レジスタンストレーニングⅣ　（自体重、器具を利用した部位別の種目習得と見本提示）
	7	レジスタンストレーニングⅤ　（安心・安全にレジスタンスエクササイズを行う為の留意事項確認）
	8	レジスタンスエクササイズの負荷強度、反復回数、休息時間、テスト法の説明
	9	骨密度を高める運動とその効果
	10	持久力トレーニングの特異性
	11	持久力のトレーニングⅠ（持久力の評価とその処方）
	12	持久力のトレーニングⅡ（持久力トレーニングの強度体験）
	13	疲労に関する諸原則・疲労の現れ方・環境条件と疲労
	14	疲労度の分類・疲労の検査法
	15	パワートレーニングの特異性
	16	スピード・パワーのトレーニングⅠ　（反応スピード・動作スピードのトレーニング）
	17	スピード・パワーのトレーニングⅡ　（スプリントパワー・フットワークのトレーニング）
	18	バランス運動とその効果
	19	各種トレーニングを組み合わせた複合トレーニングの効果
	20	ピリオダイゼーションの理論と実際
	21	総合的体力トレーニングⅠ　（サーキット・トレーニングの測定）
	22	総合的体力トレーニングⅡ　（サーキット・トレーニングの体験）
	23	柔軟運動とその効果
	24	柔軟性のトレーニングⅠ
	25	柔軟性のトレーニングⅡ
	26	コンディショニングⅢ（ウォームアップとクールダウン①）
	27	コンディショニングⅣ（ウォームアップとクールダウン②）
	28	レジスタンスエクササイズの必要性を理解し、対象者のニーズや身体状況に合わせた適性なプログラム作成
	29	様々な対象に応じた運動処方（高齢者・妊婦・既往歴など）
	30	高齢者の自立に必要なレジスタンスエクササイズのプログラム作成の応用
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツケア実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	体づくりのためのケア特性を理解し、対象者に応じた指導方法の理論と実践を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	健康やケアに必要な知識を理解し、ストレッチングの理論と方法を理解し，対象及び安全を配慮した指導ができる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト及び参考書	
特記	チームスポーツの現場でコンディションケアや治療などを行っている実務家	
授業計画	1	テーピング法の基本テクニック
	2	テーピング法実践Ⅰ（大腿部・下腿部）
	3	テーピング法実践Ⅱ（上背部・肩部・腰部）
	4	テーピング法実践Ⅲ（前腕部・上腕部・手首）
	5	ストレッチ法の基本テクニック
	6	ストレッチ法実践Ⅰ（上半身可動性）
	7	ストレッチ法実践Ⅱ（下半身可動性）
	8	ストレッチ法実践Ⅲ（リラクゼーション）
	9	スポーツマッサージ法の基本テクニック
	10	スポーツマッサージ法実践Ⅰ（手技・手法）
	11	スポーツマッサージ法実践Ⅱ（実技）
	12	スポーツマッサージ法実践Ⅲ（応用）
	13	スポーツ栄養学Ⅰ（コンディション管理計画）
	14	スポーツ栄養学Ⅱ（コンディション管理計画の作成）
	15	スポーツ栄養学Ⅲ（コンディション管理計画の評価・修正）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パーソナルトレーニング指導実践	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	1対1のパーソナルトレーニングに必要な、トレーニング方法、留意点など知識と指導スキルを	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	パーソナル指導を外部施設で行う	
教科書	特に使用はしない	
特記	チームスポーツの現場でパーソナルトレーニングなどを行っている実務家	
授業計画	1	トレーニング理論とその方法Ⅰ（スピードトレーニング）
	2	トレーニング理論とその方法Ⅱ（筋力トレーニング）
	3	トレーニング理論とその方法Ⅲ（パワートレーニング）
	4	トレーニング理論とその方法Ⅳ（筋持久力・持久力トレーニング）
	5	トレーニング指導とその方法Ⅰ（説明、試技）
	6	トレーニング指導とその方法Ⅱ（実施、確認）
	7	トレーニング計画の立案とその方法Ⅰ（プログラム設計）
	8	トレーニング計画の立案とその方法Ⅱ（疲労・回復）
	9	トレーニング計画の立案とその方法Ⅲ（環境整備など）
	10	トレーニング指導演習Ⅰ-①（トレーニング計画の作成）
	11	トレーニング指導演習Ⅰ-②（指導演習）
	12	トレーニング指導演習Ⅰ-③（トレーニング計画の評価・修正）
	13	トレーニング指導演習Ⅱ-①（トレーニング計画再考）
	14	トレーニング指導演習Ⅱ-②（指導演習）
	15	トレーニング指導演習Ⅲ-③（トレーニング計画の評価）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネス理論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	スポーツや健康運動の指導者として必要な各種トレーニングの方法および指導の際の注意点や安全管理の方法等を修得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	各種トレーニングのプログラム作成及び指導する際のチェックポイントを理解することである	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	運動生理学Ⅰ（エネルギー代謝：３つの代謝経路）
	2	運動生理学Ⅱ（有酸素運動と無酸素運動）
	3	運動生理学Ⅲ（トレーニング原則）
	4	運動生理学Ⅳ（トレーニングガイドライン）
	5	怪我の予防と処置、安全対策Ⅲ（安全対策ガイドライン）
	6	怪我の予防と処置、安全対策Ⅱ（怪我の予防対策）
	7	怪我の予防と処置、安全対策Ⅰ（インストラクターのための救急法）
	8	ボディアライメントの理論
	9	キューイング法の理論
	10	エアロビクス概論Ⅰ（基本動作）
	11	エアロビクス概論Ⅱ（危険な兆候・ウォームアップ・クールダウン）
	12	プログラム概論Ⅰ（ステップアップスキル・カーディオトレーニング）
	13	プログラム概論Ⅱ（定常状態トレーニング・インターバル）
	14	プログラム概論Ⅲ（インターミッテント・サーキット）
	15	クラスの最終パートの理論
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネス実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	６０時間（２単位）	
授業回数	３０回	
授業概要	健康づくり，体力づくりのための様々な運動を経験し，身体運動の効果を体験し実技指導を行う	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	安全で効果的なトレーニング強度とトレーニング量を設定し，適切な指導実践が行える	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト及び参考書	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	エアロビクスの特性　指導者の役割の理解
	2	エアロビクスの特性　健康効果の説明
	3	指導テクニックⅠ（キューイング、アイコンタクト、ポジショニング、動きの展開、段階的指導）
	4	指導テクニックⅡ（キューイングスキル）
	5	エアロビクスⅠ（運動強度とエネルギー消費）
	6	エアロビクスⅡ（フォーム・アライメント）
	7	エアロビクスⅢ（ローインパクト・ハイインパクトの違い）
	8	エアロビクスⅣ（音楽テンポ・上肢運動の付加など、運動強度の変換の説明）
	9	エアロビクスⅤ（安全で効果的な運動プログラム構成）
	10	エアロビクスⅥ（立位姿勢、正しい動作、基本ステップのスキル習得）
	11	エアロビクスⅦ（運動前、運動中、運動後の安全性に配慮した指導）
	12	エアロビクスⅧ（レッスン構成案作成）
	13	クラス開始・最終パート
	14	模擬レッスンⅠ（計画の立案）
	15	模擬レッスンⅡ（実践）
	16	模擬レッスンⅢ（実践）
	17	模擬レッスンⅣ（実践）
	18	模擬レッスンⅤ（計画の評価・修正、計画の立案）
	19	模擬レッスンⅥ（実践）
	20	模擬レッスンⅦ（実践）
	21	模擬レッスンⅧ（実践）
	22	模擬レッスンⅨ（計画の評価・修正、計画の立案）
	23	模擬レッスンⅩ（実践）
	24	模擬レッスンⅪ（実践）
	25	模擬レッスンⅫ（実践）
	26	実技考査Ⅰ（４５分間レッスン実践）
	27	実技考査Ⅱ（４５分間レッスン実践）
	28	実技考査Ⅲ（４５分間レッスン実践）
	29	実技考査Ⅳ（４５分間レッスン実践）
	30	実技考査Ⅴ（まとめ）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スタジオエクササイズ応用実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	エアロビクスをはじめとした様々なエアロビックトレーニングの実習を通し、エアロビクスの理論と方法を学習する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	有酸素運動について理解を深め、自らが指導できるスキルを身に付ける	
教科書	特に使用はしない	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	インストラクターの役割Ⅰ（指導法）
	2	インストラクターの役割Ⅱ（安全管理）
	3	スタジオエクササイズのプログラム作成Ⅰ（効果的で安全なプログラム）
	4	スタジオエクササイズのプログラム作成Ⅱ（プログラムの基本構成）
	5	スタジオエクササイズのプログラム作成Ⅲ（強度変化スキル）
	6	スタジオエクササイズのプログラム作成Ⅳ（動きの展開）
	7	スタジオエクササイズのプログラム作成Ⅴ（コリオグラフィーの作り方）
	8	スタジオエクササイズの応用の動きⅠ（良い姿勢・運動中の動き・動きの注意点）
	9	スタジオエクササイズの応用の動きⅡ（上肢・下肢の動き、上肢、下肢の組み合わせ）
	10	スタジオエクササイズの応用の動きⅢ（全体運動としてのバランス）
	11	スタジオエクササイズの応用の動きⅣ（指導者の向き、（対面、背面）立ち位置）
	12	キューイングテクニックスキル
	13	コンビネーションデモレッスンの作成Ⅰ（個別作成）
	14	コンビネーションデモレッスンの作成Ⅱ（再修正・チェック）
	15	コンビネーションデモレッスンの作成Ⅲ（特異性を持った対象者への変換）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スタジオエクササイズ指導実践	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	エアロビクスをはじめとした様々なスタジオトレーニングの実践を通し、スタジオレッスンの理論と方法を学習する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	有酸素運動について理解を深め、その効果を評価し、最大限に引き出す指導を学び実践する	
教科書	特に使用はしない	
特記	指導者ライセンスを保持しフィットネス業界の現場で指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	オリエンテーション
	2	基本動作確認・カウント、キューイングについて
	3	基本動作チェック・キューイングテクニックまとめ
	4	強度変換要素確認・リニアデモレッスン・リニア作成
	5	コンビネーションデモレッスンⅠ（ローインパクト）
	6	コンビネーションデモレッスンⅡ（ローインパクト）
	7	コンビネーションデモレッスンⅠ(ハイインパクト)
	8	コンビネーションデモレッスンⅡ(ハイインパクト)
	9	W-up解説・デモ、W-upグループ作成
	10	ベーシッククラスデモレッスン
	11	C-DOWN解説・デモ、C-DOWNグループ作成
	12	プレゼンテーション、インストラクションテクニック
	13	作成したプログラムの見直し・チェック
	14	レッスン最終シュミレーションⅠ
	15	レッスン最終シミュレーションⅡ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マシントレーニング実習Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	トレーニングマシンの安全、且つ効果的な使用方法を学び、器具を使用したプログラムスキルを学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	トレーニング器具を使用した安全で効果的なプログラムを作成するスキルを身に付ける	
教科書	特に使用はしない	
特記	スポーツクラブで指導・育成を行っている実務家	
授業計画	1	体力の構成要素とマシントレーニングの種類
	2	マシントレーニングの特性・安全性
	3	ストレッチングの効果・留意点
	4	レジスタンストレーニング総論Ⅰ
	5	レジスタンストレーニング総論Ⅱ
	6	ウェイトトレーニング各論Ⅰ（主要トレーニング）
	7	ウェイトトレーニング各論Ⅱ（補助トレーニング）
	8	ピリオダイゼーションとは
	9	ピリオダイゼーションの実際
	10	トレーニング計画Ⅰ-①：トレーニング計画の立案
	11	トレーニング計画Ⅰ-②：トレーニング計画の実践
	12	トレーニング計画Ⅰ-③：トレーニング計画の改善・修正
	13	トレーニング計画Ⅱ-①：トレーニング計画の立案・実践
	14	トレーニング計画Ⅱ-②：トレーニング計画の改善・修正
	15	トレーニング評価
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ運動学	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	問題演習を通じ、解剖学・生理学・栄養学・心理学を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	スポーツ運動学における幅広い知識の習得	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト及び参考書	
特記	運動メカニズムなどについて、生体力学、運動生理学など専門的な知識・スキルを行っている実務家	
授業計画	1	スポーツ解剖学Ⅰ　機能解剖上肢・下肢　骨
	2	スポーツ解剖学Ⅱ　機能解剖上肢・下肢　筋肉
	3	スポーツ解剖学Ⅲ　機能解剖脊柱・胸郭　骨
	4	スポーツ解剖学Ⅳ　機能解剖脊柱・胸郭　筋肉
	5	スポーツ生理学Ⅰ　運動と呼吸循環器系
	6	スポーツ生理学Ⅱ　トレーニングと呼吸循環器系
	7	スポーツ生理学Ⅲ　運動とエネルギー代謝
	8	スポーツ生理学Ⅳ　トレーニングとエネルギー代謝
	9	スポーツ栄養学Ⅰ　栄養素の吸収について
	10	スポーツ栄養学Ⅱ　栄養素の機能と代謝
	11	スポーツ栄養学Ⅲ　スポーツ選手の栄養教育
	12	スポーツ栄養学Ⅳ　スポーツ選手の食事教育
	13	スポーツ心理学Ⅰ　メンタルトレーニングの方法
	14	スポーツ心理学Ⅱ　スポーツ障害と心理
	15	スポーツ心理学Ⅲ　スポーツとメンタルヘルス
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スポーツ系接客職に適したスーツの着こなし
	2	スポーツ系接客職に適した身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	スポーツ系接客職で良く聞かれる質疑応答①
	5	スポーツ系接客職で良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは（一般常識試験）①
	7	筆記試験とは（一般常識試験）②
	8	筆記試験とは（適性検査試験）①
	9	筆記試験とは（適性検査試験）②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業回数	１５回	
授業概要	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなどのスポーツ系の接客職内定へ向けた志望理由を作れるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	仕事選びの基準
	2	求人票からの情報収集
	3	会社四季報、新聞からの情報収集①
	4	会社四季報、新聞からの情報収集②
	5	総合職と一般職
	6	スポーツ系接客職職種研究①
	7	スポーツ系接客職職種研究②
	8	スポーツ系接客職職種研究③
	9	スポーツ系接客職職種研究④
	10	スポーツ系接客職職種研究⑤
	11	スポーツ系接客職への志望理由①
	12	スポーツ系接客職への志望理由②
	13	スポーツ系接客職への志望理由③
	14	スポーツ系接客職への志望理由④
	15	スポーツ系接客職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		